

門司中学校 実践交流会

分散会 第4ブース

社会科 第3学年

単元名

「 私たちが作る社会 」

授業のねらい

自分たちに身近なテーマを例に、個別・班での話し合いを通して、対立する意見の調整の仕方を学び、だれもが納得できるルールを話し合いによって自分たち自身がつくっていくことの意義に気づく。

ICT機器の活用場面①



- ・1年生の練習スケジュールを見て、どのような「課題」があるのかを、班で考えタブレットPCに書いて提出し、デジタルTVに映し全体で確認する。
- ・2年生も同様に「課題」を探し提出して、全体で確認した。

ICT機器の活用場面②



・3年生の練習スケジュールを班で考え、提出する。提出した練習スケジュールを全体で見て、公正で効率的なスケジュールを話し合いで合意し、決定する。

生徒の反応

○身近なテーマで、意欲的にグループディスカッションに参加し、タブレットPCでは記入・消去が簡単にできるので、話し合い活動が活発になった。

○画面から次々に課題やルールが提示されることで、関心も高まり、積極的に授業に参加出来た。

○最後に全班のルールを1つずつ画面で確認したことで、他の班の考えたルールについて画面を見ながら様々な考え方があつたことを知り、合意に向けて話し合うことができ、それについて意欲的に発言できた。

成果と課題

<成果>

○タブレットPCに書いて、班の意見を送ることで、日頃人前で発言しない生徒も自分の意見を求められ、話し合いに参加していた。

○生徒が作ったシートを即時に画面に映し出して全体で比較・共有できるという点で時間の無駄がないこと、また、生徒は自分のものが映し出されるということで達成感を味わいながら、自分たちの考えたルールと他の班のルールを比較することができ、多様な考えがあること、より良いルールを目指して話し合うことの意義・理解が深まったのではないかと感じる。

話し合いの活動をする場面で、他者の意見と比較・共有できることでタブレットPCは効果的だと思う。